



# 校長室だより

2021年6月4日

校長 小崎 功二  
こさき こうじ

## 仙台市 嘱託社会教育主事制度

社会教育主事は、社会教育法第9条2に「都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に社会教育主事を置く。」と必置規定されていて、主に公民館（仙台市では市民センター）等の社会教育施設で生涯学習事業を担当する専門職です。

仙台市の「嘱託社会教育主事制度」は、公立学校の教員が社会教育主事の資格を取得し、仙台市からの委嘱を受けて、学校に勤務しながら社会教育にも携わる仙台市固有の制度であり、その活動は、全国的に注目されています。

委嘱を受けた嘱託社会教育主事の多くは、学校教育と社会教育の架け橋として、また、学校を含めた生涯学習推進の原動力として活躍しています。

### 嘱託社会教育主事の主な活動

- インリーダー研修会・ジュニアリーダー初級研修会実施  
（講師派遣ではなく、市民センターと手を携えて主催の一翼を担う形）
- 地区市民センターを拠点に活動している「ジュニアリーダー」の活動支援
- 専門性を生かした、地区市民センター事業、講座の企画、運営への参加
- 市民センター施設・学校等を活用した嘱託社教独自の事業・活動の展開
- 「楽学プロジェクト」「成人式」等、生涯学習事業への協力
- 勤務する学校における、地域連携・協働を推進するための活動

嘱託社会教育主事には、生涯学習に対する高い目的意識を持って、市民センターや地域で、専門性を生かした活動を展開することが期待されています。

本校の坪井教頭も、嘱託社会教育主事として委嘱を受けています。現在は学校のあらゆる業務の要としての教頭職ですが、地域との窓口としての役割も果たす中で、社会教育主事としてのこれまでの経験や専門性を生かして対応しており、また、子供会のインリーダー研修会や楽学プロジェクト、成人式など、全市的な生涯学習関連事業にも携わっています。

私も、社会教育主事として以前市民センターに勤務していたことがあり、現在も嘱託社会教育主事として委嘱されています。教頭と共に、地域とのつながりが深い郡山小学校で地域と学校をつなぐ役割を期待されての配置ではないかと、自分なりに考えています。

校内では、教務主任の増田教諭を地域連携担当としており、体育振興会を中心とした施設開放事業、社会学級、PTA やおやじの会との連携等、これからも地域の皆様と手を携えて、生涯学習の拠点としての役割も担える、社会や地域に開かれた学校となるよう努めて参ります。

..... 切り取り線 .....

学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など

2021年6月4日（ ）年（ ）組 児童氏名

※匿名でも結構ですが、御連絡が必要な場合等を考え、記名していただけるとありがたいです。

※担任に御提出いただいても、校長室前のポストに直接入れていただいても、校長に直接手渡していただいても、いずれでも結構です。

